

第三十一回「壺の碑」全国俳句大会（兼題）特選句

令和六年十月十四日

神野紗希先生 選

多賀城市観光協会会長賞

特選第一席 クリームとソーダのあはひものあはれ 津

森本 香子

多賀城市教育委員会賞

特選第二席 渦巻ける銀河のほとり歩荷ゆく 郡山

大河原真青

多賀城・七ヶ浜商工会会長賞

特選第三席 最後だったね冷やし中華でランチ 多摩

佐々木由紀子

第三十一回「壺の碑」全国俳句大会（兼題）特選句

令和六年十月十四日

西山 睦先生 選

特選第一席	壺の碑を巻ゆく霧の深さかな	東根	伊藤 幸
特選第二席	案山子へと手を振れば人振り返す	東京	眉山すだち
特選第三席	一天の星揃ふまでハンモック	川越	関口 幹雄

成田 一子先生 選

特選第一席	この家に静かな呼吸ラ・フランス	佐野	山野井朝香
特選第二席	いくさ終えパイヤのことばかりかな	栃木	吉成 裕
特選第三席	母に来るメモ書きほどの処暑の文	岡崎	水野 幸子

高橋 健文先生 選

特選第一席	真青なる八月の空核の傘	津	森本 香子
特選第二席	足元の砂丘八月十五日	仙台	小山あきお
特選第三席	流星やA Iに自我生まれる日	仙台	小野 豊

高野ムツオ先生 選

特選第一席	人死して人の集まる夜の秋	川崎	滝代 文平
特選第二席	遠くより来て陽炎を脱いでゐる	宮城	土見敬志郎
特選第三席	死後のこと見てゐる死者よ原爆忌	柏	岡田 春人